

# ごとう通信

第 184 号

平成 28 年 4 月 1 日

やっぱり四月はホツとします。風

は強く吹きますが、厳しい冷たさはなくなり、温かみを感じます。実は普段、あまり風景を見ていない人間なのですが、今年は先月くらいから個人的に標本木を作って毎日桜の開花状況を見ていました。初めは少し枯れ枝の先が膨れたかなあと思っていました。その後徐々に緑色のものが出てきてある朝、白っぽいピンク色の花が見えた時は「おお！」と声が出てしまいました。冬の間は枝だけで本当に生きていくのかどうかかわからない桜なのに、よく観



察すると一日一日すごく変化するんだなあと思いました。

さて、先日ある騒動がふれあい歯科で起こりました。以前から勤務してくれた方が体調を崩すということがあり、ある懸念を持っていました。この建物は元々東京電力の建物で東京オリソニックの年に建てられたものです。老朽化は感じないのですが、ベランダの地下に変電施設があります。もし、そこから何か電磁波が出ていてスタッフの方の健康被害に影響しているとしたら一大事です。そこで調べてみると電磁波測定器というものがあり、そんなに高価でもないということが分かり、さっそく購入しました。

まずは窓際。何も反応しません。「あれ？」と思って外に出ていろいろ動き回りましたがほとんど反応が

ありません。電子レンジを付けて計

測してみると真ん前よりも横から電磁波が広がっていることが分かりました。ノート型のパソコンなども計測しましたが、わずかに反応する程度。それで受付に行くときすごい反応が！犯人は2つ。パソコンのモニター（画面）とインターフォン。他のモニターは反応しないのに受付のモニターだけ反応するのです。開業当時から使用していたもので十二年以上使っていました。すぐに交換して今は正常です。インターフォンは変更不能いので電磁波防護シールというものを購入し貼り付けました。少しはいいかもしれませんが。

現代社会はともないうる便利になりました

